

やまなし 交通安全情報

168号

財団法人 山梨県交通安全協会
財団法人 山梨県交通安全協会各支所

発行所
山梨県交通安全活動推進センター
TEL 055-280-5550
〒400-0202 南アルプス市下高砂847
(ホームページ)
http://www.yin.or.jp/user/ankyoku/

甲府交通安全協会
韮崎交通安全協会
南部交通安全協会
富士吉田交通安全協会

南甲府交通安全協会
北杜交通安全協会
笛吹交通安全協会
大月交通安全協会

南アルプス交通安全協会
諏訪交通安全協会
日下部交通安全協会
上野原交通安全協会

自動車安全運転センター山梨県事務所
社団法人・山梨県トラック協会
社団法人・山梨県バス協会
社団法人・山梨県自動車整備振興会
中日本高速道路株式会社八王子支社
山梨県タクシー協会
山梨県軽自動車協会
山梨県自転車軽自動車商協同組合
山梨県二輪車安全普及協会

CONTENTS	2	夕暮れ時の「死角」注意	4 5	各地区安協の活動
	3	事故ゼロ願ひ各地で啓発活動	6	安協会員入会のお願い
		女性部登場【北杜安協】	7	中学生交通安全弁論大会
			8	協賛団体の交通安全情報

年末の交通事故防止県民運動

12月1日から31日

飲酒運転根絶へ一丸



交通安全カレンダー

12月1日 ～31日 平成22年	年末の交通事故防止県民運動
2月	交通安全推進県民大会
4月	春の全国交通安全運動
6月	交通安全子供自転車山梨県大会 二輪車安全運転山梨県大会
7月	夏の交通事故防止県民運動
9月	秋の全国交通安全運動
10月	山梨県中学生交通安全弁論大会

事故が多発する年末を控え、街頭で安全運転を懸命に呼び掛ける南アルプス交通安全協会役員ら
— 南アルプス市寺部

運動の重点目標は①飲酒運転の根絶と悪質・危険な運転の追放②高齢者と子どもの交通事故防止③二輪車の交通事故防止④全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底⑤自転車の安全利用の推進⑥早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進です。

「年末の交通事故防止県民運動」(県交通安全対策本部・県交通安全推進協議会主催)が十二月一日から三十一日までの一カ月間実施されます。交通量の増加に伴い、心理的に慌ただしく、飲酒の機会も増える年末は事故や違反の多発が懸念されます。

「人」に優しい安全運転を日々心がけていただけることを願っています。

運動の重点目標は①飲酒運転の根絶と悪質・危険な運転の追放②高齢者と子どもの交通事故防止③二輪車の交通事故防止④全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底⑤自転車の安全利用の推進⑥早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進です。

県内の交通事故は平成十五年からは年々減少傾向にありますが、依然として日々死者や負傷者を伴う人身交通事故が発生し、県民の安全・安心にとって大きな問題です。▼こうした中、山梨県交通安全協会では山梨県公安委員会の委託を請けた運転免許更新者講習、行政処分者講習及び初心運転者講習及び企業や地域に向向いての交通安全講習等を行っています。これらの講習は県民の方々が悲惨な交通事故の当事者にならないことを願ひながら行っておりますが、現実には届かず厳しい状況にあると言わざるを得ません。▼ところで、自動車の運転は人間行動です。人間行動はそれぞれの人の考え方によって決まります。そう考えますと自動車の運転はその人の心の動きによって安全運転となるのか危険運転になるのかが決まることとなります。▼特に交通違反は個々の運転者が持つ心の動きに基づいて犯すものであると言えます。この交通違反を繰り返すことは、危険運転を日常的に続けていることになり、交通事故を起こす可能性が非常に高くなります。交通違反も交通事故も他人に責任を求めがちですが、自分の心に根本原因を求めて反省することから次の安全運転が保障されるのです。▼こうした観点から、講習内容が運転者個々が持っている心(良心)に直接届き、自分を含めた「人」に優しい安全運転を日々心がけていただけることを願っています。

交 差 点

▼県内の交通事故は平成十五年からは年々減少傾向にありますが、依然として日々死者や負傷者を伴う人身交通事故が発生し、県民の安全・安心にとって大きな問題です。▼こうした中、山梨県交通安全協会では山梨県公安委員会の委託を請けた運転免許更新者講習、行政処分者講習及び初心運転者講習及び企業や地域に向向いての交通安全講習等を行っています。これらの講習は県民の方々が悲惨な交通事故の当事者にならないことを願ひながら行っておりますが、現実には届かず厳しい状況にあると言わざるを得ません。▼ところで、自動車の運転は人間行動です。人間行動はそれぞれの人の考え方によって決まります。そう考えますと自動車の運転はその人の心の動きによって安全運転となるのか危険運転になるのかが決まることとなります。▼特に交通違反は個々の運転者が持つ心の動きに基づいて犯すものであると言えます。この交通違反を繰り返すことは、危険運転を日常的に続けていることになり、交通事故を起こす可能性が非常に高くなります。交通違反も交通事故も他人に責任を求めがちですが、自分の心に根本原因を求めて反省することから次の安全運転が保障されるのです。▼こうした観点から、講習内容が運転者個々が持っている心(良心)に直接届き、自分を含めた「人」に優しい安全運転を日々心がけていただけることを願っています。

一年の下半期に事故増加

夕暮れ時の「死角」注意

本年九月末の交通事故は、発生件数四千七百二十三件、死者二十七人、負傷者六千三百二十二人で、前年と比較すると、発生件数はプラス二十四件(0.5%増)、死者はマイナスイブ(25.0%減)、負傷者はプラス百二十八人(2.1%増)となっています。過去五年の上半期と下半期

の交通事故を見ると、下半期に多く発生しており、特に、子供と高齢者の事故、歩行中、自転車・二輪車乗車中の事故が、上半期に比べ6%〜17%の割合で増加しています。昨年の死亡事故も、死者五十八人中、三十人が下半期に亡くなっており、上半期の一・

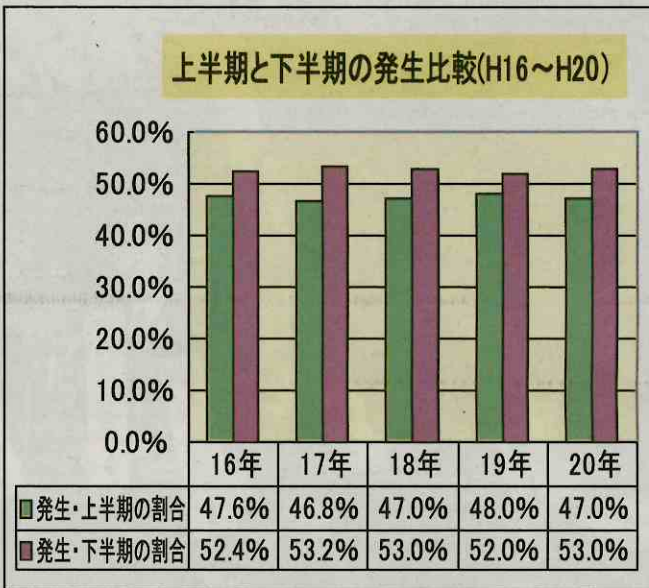
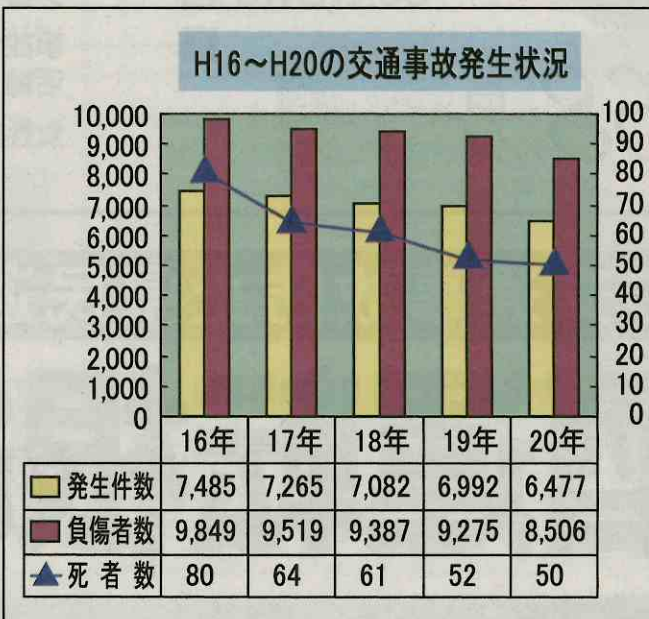
五倍となっています。また、30%に当たる九人の方が日没前後の午後四時から午後八時の時間帯に犠牲となっています。交通安全に「**避けないために!**」

射材を身につけるようしてください。反射材については、車のライトは足下から上体を照らすため、反射材を靴など足下に貼付したり、タスキがけをするなど効果的です。また、車両の運転者は、早めにライトを点灯して、歩行者や自転車に対する安全への注意が、より一層必要となります。

安全への心配りと人にやさしい安全運転を!

年末は、何かと忙しい時期ですが、こんなときこそ周囲の状況をよく見て行動することが必要です。通り慣れた道だから、近所だから大丈夫だろう」といった心の油断から多くの事故が発生しています。

歩行者や自転車の方は、「自分の命は自ら守る」との意識のもと行動し、自動車運転者の方は、歩行者や自転車に注意を払い、思いやりとゆずりあいの気持ちを持って、安全運転を心がけていただくようお願いいたします。



このようにことから「交通安全に「**避けないために!**」

山梨県警察交通部から

活用して、自身の身体能力を理解し、安全運転に心掛けていただきたいと思います。

また、これに伴い酒気帯び運転をした場合の処分も重くなり、呼気1リットル中のアルコール量が0.25ミリ

て点数を付し、その累積点数に応じて科せられるもので、原則的に、六年以上が停止、十五点以上が取消の処分となります。

運転免許を大切に

県警運転免許課長 中澤 朋彦



運転免許の停止や取消の処分は、仕事にも大きな支障をきたします。

県民の皆様には、平素からご家族で交通安全事故を起こさないよう

り、交通事故に遭ったりしないように注意し、安全で安心な車社会の実現に向け、安全運転に努めていただきたいと思います。

近年、運転免許に係る法改正が相次ぎました。平成十九年には「中型免許」の導入、本年一月からは「I・C免許」への切り替え、六月からは「講習予備検査」の導入及び「行政処分の強化」が始まりました。

このうち、「講習予備検査」は七十五歳以上の免許保有者に対する安全運転の支援措置であり、九月から県内の各自動車教習所において、高齢者講習の前に実施される予定です。

高齢運転者の皆さんには、この制度を

ひき逃げ、危険運転致死傷等悪質な違反を「特定違反行為」とし、このような行為をした運転者に対して最も高で十年間の欠格期間(運転免許試験を受験できない期間)を定めたも

以上の場合には「取消二年」0.25ミリ未満の場合には「停止九十日」の処分が科せられます。

運転免許の行政処分は、交通安全や交通事故を起した運転者に対し

第二回高齢者交通安全大会が県交通安全協会・地区交通安全協会共催、山梨県警察本部・山梨県自転車軽自動車商協同組合後援で十月二十三日、山梨県総合交通センターで開催されました。



県内12安協のお年寄りが参加し、熱戦を繰り広げた第2回高齢者交通安全大会 = 県総合交通センター自転車体験コース

南部安協が団体で優勝 個人は佐野加代子さん

高齢者交通安全大会

に高齢者交通安全リーダー証を交付、自転車競技の成績上位の団体と個人を表彰しました。

成績上位の団体・個人は次の通りです。◇団体の部 ▽優勝 南部交通安全協会(片田正治、佐野加代子、三澤國博)

▽準優勝 鵜沢交通安全協会(樋口幸夫、上田修、青柳好春) ▽第三位 南アルプス交通安全協会(金丸武士、三枝秀武、小林一二三) ◇個人の部 ▽優勝 佐野加代子(南部交通安全協会) ▽準優勝 三枝秀武(南アルプス交通安全協会) ▽第三位 三澤國博(南部交通安全協会) ▽満点賞 樋口幸夫、上田修(鵜沢交通安全協会) 片田正治(南部交通安全協会) 以上敬称略

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内二丁目16-1
富士急ビル6階
TEL055-228-0691

女性部登場

3 北杜交通安全協会

「交通安全は家庭から」

心を込めてマスコット作り ドライバー、地域住民から大好評

北杜交通安全協会は、県北西部に位置する北杜市にあります。八ヶ岳、南アルプス、茅ヶ岳と日本を代表する山々に囲まれ、日本名水百選や平成の名水百選に計三方所も選ばれている名水の里であり、管内を通過する中央自動車道には、インターチェンジが三方所あり交通アクセスも良く、多くの観光客が訪れる自然と資源に恵まれたところです。

当協会は、長坂、高根、大泉、小淵沢、白州、武川、須玉、明野の八支部で構成され役員総数は八百四十六名で、伊藤重忠会長の下、崇高な理念でボランティア活動を行っています。

私も女性部は、男性役員と共に交通安全運動への参加、各種イベントへの協力等を行っておりますが、女性ならではの活動も数多く実施しております。

これまで行った活動では、①警察署の花壇への花植え②「交通安全は



家庭から」をスローガンに市内の家庭婦人バレーボール大会参加選手に家庭での交通安全リーダーのお願い③未就園児のいる若い母親の皆様シートベルト着用と家族への交通安全の呼びかけ④高齢者の交通事故が多発している中、高齢者宅を訪問して反教材等を配布し、交通安全指導等を実施⑤女性部の大きな事業の一つ、マスコット作り等を推進しております。

本年のマスコット作りは、国蝶でもあり北杜市のシンボルの一つになっているオオムラサキをモチーフにして女性部役員三百五十名が心を込めて約二千個を作りました。このマスコットを交通安全運動の期間中、街頭指導の際に配布したり、北杜市へ贈呈し公用車等につけていただいたりして、交通安全運動への理解と協力をお願いしました。また、市内の教習所、タクシー会社、運送会社等を訪問して従業員等に配布し、安全運転のお願いを行いました。

マスコット作りは大変ですが、地域の皆さんから「今年は何をつくるの?」「楽しみにしていますよ!」「どこで貰えますか?」と言われたり、過去数年間に作って配布したものを何個もつけてくださったたりしている人もいて、苦勞が報われ、毎年がんばって作っています。

女性部ではこのほか役員研修として誰にでもできる車の整備・点検をしたり、男性役員とともに愛知県警への視察に参加したりしました。この自然のすばらしい北杜市から悲惨な交通事故を一件でも減らすことができますよう、北杜警察署の皆様とともになんげにまいりたいと思います。

(文責・清水さゆり)



シルバー安全運転コンクール (鯉沢)



秋の全国交通安全運動出発式 (甲府)



交通少年団の活動 (甲府)

事故ゼロ願 各地で啓発活動



交通安全パレード (南部)



交通安全願い風船揚げ (南部)



小学生を対象に自転車教室 (南甲府)

日下部



女性部が手作りリースで安全呼びかけ

日下部安協は9月29日、甲州市で交通安全ゲートボール大会を開き、高齢者約400人が参加しました。女性部は24日、交通安全を呼びかける標語を飾ったリースを手作りし、高齢者福祉施設などへ贈りました。28日の夏期研修会では女性部役員80人が交通安全に関する映画や日下部警察署交通課長の講話で事故防止のポイントなどを学びました。

富士吉田



瀬古利彦さん迎え啓発活動展開

元男子マラソン五輪選手の瀬古利彦さんを一日警察署長に迎えて啓発活動を展開しました。瀬古さんは富士吉田市の富士山レジャー・ドーム館前で行われたセレモニーに出席した後、堀内茂市長らとともに富士吉田道の駅で、訪れた人に吉田のうどんを手渡しながら交通安全を呼びかけました。

大月



恒例の高齢者宅訪問で事故防止啓発

大月安協は9月22日、恒例となった高齢者宅訪問事業を都留市と大月市で実施。国道沿線の約200戸を訪問して反射材の使い方を説明しました。24日は大月市内の駅と七保駐在所前で黄色い羽根を配り、飲酒運転撲滅などを呼びかけました。高齢者を対象にした「夜間の交通安全大会」も28日に都留市で開かれ、色による視認性の実験などを行いました。



鵜沢



安全運転コンクールで高齢者に啓発

鵜沢安協は9月20日、秋の全国交通安全運動に伴って増穂町の峡南自動車教習所で「第1回鵜沢警察署管内シルバー安全運転コンクール」を開きました。同署管内の65～88歳の運転者27人が学科と実技で試験を行い、市川三郷町の伊藤正一さんが優勝しました。また9月21、24、25の3日間、市川三郷、増穂、鵜沢の3町に街頭指導所を開設しました。

南部



園児ら交通安全願いパレード

秋の全国交通安全運動に合わせて9月24、25日の両日、園児や老人クラブのお年寄りらによる交通安全パレードが行われました。園児たちが「交通安全のやくそく」を宣言した後、マーチング演奏やパレードを行い、最後に交通安全への願いを記した風船を放ちました。また、28日には身延町総合文化会館で山梨県第一部修法師会による交通安全祈願祭が行われ、安協役員ら関係者が参加しました。その後、管内の死亡事故現場で犠牲者への慰霊も行いました。

笛吹



特産ブドウ配って安全運転呼びかけ

笛吹安協は秋の全国交通安全運動中の9月21日、笛吹市石和町の笛吹橋東詰で街頭指導を行いました。安協役員ら約40人が参加して、チラシやマスコット、特産のブドウなどを配布しました。24日には石和支部40人が石和町の園芸高校自動車訓練コースで高齢者の交通安全教室を開き、参加者が実際に自動車や自転車に乗るなどして指導を受けました。

地区安協の活動

南アルプス



280日間死亡事故ゼロ 県警から感謝状

県警は280日間、交通死亡事故が発生しなかったことから南アルプス安協や南アルプス市など交通関係機関に感謝状を贈呈しました。市内では2008年12月に市道交差点で男性1人が死亡した事故以後、死亡事故がなく9月21日に280日を達成しました。9月29日、廣瀬文三勝交通部長らが市役所を訪れ、今澤忠文市長に感謝状を手渡しました。



地区安協の活動

上野原



体験型教育で高齢者に事故防止啓発

上野原安協は9月18日、秋の全国交通安全運動の出発式を上野原市役所センタープラザで行った後、国道20号神奈川県境で街頭指導を実施。女性部手作りのストラップを配ってシートベルト着用などを呼びかけました。24日は県総合交通センターで参加・体験型交通安全教育を行い、高齢者が横断トレーナーやシミュレーターを使って学びました。



韮崎



イベント参加者に交通安全呼びかけ

韮崎安協は秋の全国交通安全運動として9月18日、甲斐市の竜王、敷島、双葉の3地区内と道の駅にらさきで街頭指導を実施しました。10月は韮崎市の福祉の日記念まつりと武田の里まつり、甲斐市わくわくフェスタの3つのイベントに参加して、シートベルト衝撃体験車やパントマイムなどで訪れた多くの人に啓発活動を行うことができました。



甲府



北新地区安全・安心講習会

講習会や街頭指導で事故防止呼びかけ

甲府安協の秋の全国交通安全運動出発式では、城北幼稚園児がマーチングバンドの演奏を披露。その後、甲府駅前啓発品を配布して交通安全を呼びかけました。9月29日には甲府地域交通安全活動推進委員協議会による自転車などへの街頭指導も行われました。北新支部は「安全・安心講習会」を開き、自治会役員らが保坂廣文甲府警察署長や交通課長、生活安全課長の講話を聞きました。



北杜



高齢者交通安全ゲートボール大会

北杜安協は秋の全国交通安全運動中の9月29日、高齢者地域交通安全推進リーダー委嘱式と交通安全ゲートボール大会を行いました。196人に委嘱状と反射材付きの手袋が交付され、代表者が交通安全宣言をしました。また、管内3駅と各支部11カ所で行った街頭指導を実施し、リーフレットや女性部手作りのマスクットを配布して交通安全を呼びかけました。

高齢者196人に交通安全リーダー委嘱



南甲府



自転車教室で小学生に実技指導

南甲府安協昭和支部は9月30日の「交通事故死ゼロを目指す日」に、昭和バイパス沿いでプレート掲げてドライバーに啓発しました。また5月には押原小と常永小で3、4年生を対象に自転車教室を開いて校庭や周辺道路で実技指導を行いました。南甲府安協女性部は秋の全国交通安全運動の街頭指導で配布する楊枝立て500個を手作りしました。



安協会員入会のお願い

山梨県交通安全協会は、免許証の取得・更新時に会費を任意でお願いしております。協力をいただいた方の会費は、皆様の住居地の交通安全協会が悲惨な交通事故を一件でも減らすために、街頭交通安全指導、自転車教室、高齢者安全講習等の各種活動を行っておりますが、こうした活動の経費として活用させていただいております。

交通安全協会会員の皆様への支援

弁護士無料法律相談

会員が交通事故を発生させたか又は交通事故の被害者となった場合、損害賠償等で疑問があったときは当協会の委託弁護士による無料の法律相談が受けられます。

詳しくは、山梨県交通安全協会 (☎055・280・5550) にお問い合わせください。

交通事故見舞金制度

会員が不幸にして交通事故で死亡した場合や後遺症が生じた場合は、20万円を限度とした見舞金を交付しております。

免許証ケース及びセーフティー・ドライブマップの進呈

免許証の亡失、損傷を防止するため滑り止めのついた免許証ケースとセーフティー・ドライブマップを進呈します。

Eメール会員へのサービス

運転免許の更新時期のお知らせや安全運転に役立つ情報を提供します。

「ハンドルキーパー運動」推進中

ハンドルキーパー運動とは?

自動車で仲間と飲食店などに行く場合に、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。

山梨県交通安全協会では、山梨飲食業協同組合をはじめとする関係者のご協力を得ながら飲酒運転の根絶を目指して、「ハンドルキーパー運動」を推進しています。



今日のハンドルキーパーは私です!!



飲酒運転の根絶へ キャンペーン展開

県、県交通対策推進協議会

県と県交通対策推進協議会では、県警察と連携して、平成二十二年一月三十一日まで

飲酒運転することについて

この二月間、「飲酒運転しない・させない山梨県キャンペーン」を実施します。このキャンペーンでは、県内の酒類提供店の協力を得て、店内に「飲酒運転させない宣言の店」(卓上カレンダール)を掲出し、店関係者と来店者の飲酒運転根絶の意識高揚を図り、飲酒運転をしない・させない環境づくりを強化します。

高い無事故率

早く優しい地元のための教習

山梨県公安委員会指定

岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-5-1

☎0555-22-1689

普一、大型一・二、大特

けん引、自二

(合宿施設有)

安協から

交通安全は地域から

笛吹交通安全協会は、笛吹市内の七町に七支部を置き、会員が一致協力して「交通事故のない安全で住みやすい地域づくり」を

笛吹交通安全協会会長 三枝 力



政も含め「地域の子どもや高齢者は、地域が守る」という考えが広まっていくことを信じて、今後も、地道に活動を続けていくことが大切であると考えます。

笛吹警察署管内は、甲府バイパスをはじめとする、県内でも交通量の多い主要道路を有し、また、石和温泉郷などへは県内外から訪れる行楽客も多いことから、交通環境は非常に

しかしながら、地域の宝である子どもや高齢者が関係する事故は若干ではありますが増加しており、子どもと高齢者の交通事故防止が、今後の交通事故防止活動の中心となると考えています。そのためには、

子どもや高齢者に対する反復継続した交通安全教育の実施

に厳しい状況にあります。そうした中、管内の人身交通事故の発生状況(十月十二日現在)は、発生件数四百四件(四十件減)、死者二人(四人減)、傷者五百三十二人(九十七人減)といずれも昨年同期を下回っている状況にあります。

○高齢者に対する参加・体験・実践型の交通安全教室の開催等を中心に、各支部会員が地域に根ざした活動を行うことにより、行

犯罪・交通事故等の被害で悩んでいませんか? 私たちにお電話ください

電話相談 相談無料 ☎055(228)8622

受付:10:00~16:00(土・日・祝日は除く)

※秘密は厳守されます。相談の内容は一切外に漏れることはありません。 ※お名前、話したくないことを無理にお聞きすることはありません。



お問い合わせ先

賛助会員募集中!! 詳しくはお問い合わせください

被害者支援センターやまなし

〒400-0031 甲府市丸の内2-32-11 県医師会館3F
TEL・FAX055(228)8639
URL <http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/>
MOBILE <http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/m/>



山梨県中学生交通安全弁論大会優勝作品

皆さんは自転車に正しく乗っていますか。中学生の私達にとって通学や友達の家遊びに行くとき、自転車はとても便利なものです。空気を汚さず、子どもから大人まで乗れる、今、注目が集まっている乗り物です。しかし皆さん、そんな楽しく便利な自転車も、使い方、乗り方次第ではとても危険な乗り物となります。

私は以前、次のような体験をしました。自転車で友達の家へ遊びに行こうと玄関で靴を履いていました。すると母がやってきて、「ちょっと！ヘルメットはかぶらないの！」

「え。暑いしかぶるの面倒くさいよ。大丈夫だって。別にへへ」

「何言ってるの！事故にあったらどうするの。いいからつけなさいーホラー早くー」

母は私に強引にヘルメットをかぶらせ、送り出しました。

「ちえっ。何だよ。こんな暑い日にヘルメットって…。だいたヘルメットとか格好悪いし、友



自転車とわたし

白倉 歩武 (高根中2年)

達でつけているやつなんて誰もいれ、

「いえ、大丈夫です本当に」と言っていました。彼らはまた、私のような体験をしていないからです。確かに格好悪いし、夏は暑いし、嫌がる人はたくさんいると思いましたが、格好が悪いからといってヘルメットをかぶらないのってヘルメットをかぶらないのと、事故が万が一起きたときに備えるのでは、どちらが正しいのでしょうか。もしかしたらこの選択

「ええ、暑いしかぶるの面倒くさいよ。大丈夫だって。別にへへ」

「何言ってるの！事故にあったらどうするの。いいからつけなさいーホラー早くー」

母は私に強引にヘルメットをかぶらせ、送り出しました。

「ちえっ。何だよ。こんな暑い日にヘルメットって…。だいたヘルメットとか格好悪いし、友

「お前すげえな！俺なんか絶対無理だぜ」とヘルメットを否定し

「大丈夫？本当にゴメンね。うちの人に電話しないと…」

私はぶつかったおじさんに謝ら

「お前すげえな！俺なんか絶対無理だぜ」とヘルメットを否定し

「大丈夫？本当にゴメンね。うちの人に電話しないと…」

私はぶつかったおじさんに謝ら



山梨県中学生交通安全弁論大会

主催 / 山梨県警察本部 (財)山梨県交通安全協会



山梨県中学生交通安全弁論大会

白倉歩武さん(高根中2年)優勝

第五十一回山梨県中学生交通安全弁論大会が山梨県警察本部と山梨県交通安全協会の主催で十月十五日、玉穂総合会館で開催されました。

大会には県内十二警察署管内の地区大会で優秀な成績を収めた十二人と昨年優勝者の所属校と大会協力校各一人の十四人が出場、持ち時間五分で「論旨のわかりやすさ」「表現の適切さ」「発表の態度」を基準に審査した結果、「自転車とわたし」の演題で、高根中学校二年白倉歩武さんが優勝しました。

出場者は、自らの体験などを通じて感じたことを中学生の目線から訴え審査員をはじめ観衆に感動を与えました。弁論の内容につきましては「中学生交通安全弁論要旨集」を発行し、県下の中学校をはじめ、関係機関団体に交通安全教育資料として配布しております。

- 受賞者は次の通りです。
- 優勝 △山梨県知事賞 白倉歩武(高根中2年)
 - 準優勝 △山梨県議会議長賞 三木芽衣子(若草中1年) △山梨県教育長賞 中澤美紅(玉穂中2年) △山梨県警察本部長・山梨県交通安全協会長賞 渡辺和樹(忍野中3年)
 - 優秀賞 入倉真子(増穂中3年) 小俣優和(上野原中1年) 矢ヶ崎萌(山梨学院大付属中2年) 金刺瑞樹(東桂中3年) 伊藤天也(久那土中2年) 伊藤希(双葉中3年) 荒木美雲(韮崎西中3年) 古屋美緒(大和中2年) 渡邊活(玉穂中1年) 山田友美(石和中2年)
 - △以上敬称略

DS Drive Safety

山梨中央広告社グループ
YAMANASHI ADVERTISING TRANSPORT CO.
株式会社 山梨広告運送
中央市西新居330-7
TEL.055-274-3822 FAX.055-274-3842
http://www.yamanashi-orkomi.com

山梨県公安委員会指定 (財)山梨県交通安全協会立

山梨自動車学校

〒400-0202 南アルプス市下高砂847

- 全車種運転免許取得OK 学生割引 短期コース
- 高齢者講習実施中
- 土日祝日も休まず営業(但し年末年始を除く)
- 優秀なスタッフが親切丁寧に指導します
- 送迎は相談に応じます 料金等詳細は

フリーダイヤル 0120-915-752 まで

SJD 自動車安全運転センター

SDカードSMをお持ちですか?

- 自動車安全運転センターでは、無事故・無違反証明書又は運転記録証明書を申請された方で、1年以上無事故・無違反の方にSD (Safe Driver) カードを差し上げています。
- SDカードには、無事故・無違反の年数により次の5種類があります。

スーパーゴールド	ゴールド	シルバー	ブロンズ	グリーン
20年以上	10年以上20年未満	4年以上10年未満	2年以上4年未満	1年以上2年未満

**ご存知ですか?
SDカードの特典**

- SDカードをお持ちの方は、金融機関での「マイカーローン金利サービス」、「安全運転定期預金」、スーパーマーケットでのポイントサービス、ガソリンスタンド、レストラン、ホテル、遊園地、ゴルフ場、クリーニング店、自動車整備工場等自動車安全運転センターと契約している「SDカード優遇店」で割引等のサービスを受けられます。(使用日から1年以内に発行されたカードを対象)



DSワンダくん

〈お問い合わせ先〉
自動車安全運転センター山梨県事務所
 南アルプス市下高砂825 電話 (055)285-2345 <http://www.jsdc.or.jp/>
 FAX (055)285-2951



AMS (山梨県自動車整備振興会)

◇新しい認定資格制度
 県内初の「認定自動車整備技術
 コンサルタント」等を認定!

自動車整備業界では、自動車整備士の評価、社会的地位向上を目指した「自動車整備技術認定資格制度」を創設しました。整備士の修得内容は、電子制御装置、自動車新技術、アドバイザー能力、環境保全等多岐にわたっています。これらのスキルを身に付けた方々を正に認定し、ユーザーからの信頼と整備士の意欲をそれぞれ向上させることを目的とします。

そこで、認定資格取得のための講習が開催され、その結果、1級整備士を対象とした「整備技術コンサルタント」5名、2級整備士を対象とした「整備技術スーパーアドバイザー」2名が合格、山梨県内で初めて認定され、9月28日(月) 当会会議室において、自動車整備技術認定証書授与式を行いました。



認定された方々は、各事業場の代表としてお客様と接し、お客様の視点で自動車の点検、整備等保守管理について分かりやすくアドバイスを提案し、今後の業界のリーダー的な役割を果たすこととなります。



整備技術コンサルタント



整備技術スーパーアドバイザー

(社) 山梨県トラック協会

緑ナンバーのトラックについている
 このマークをご存知ですか?



Gマークはトラック運送事業者の
 安全・安心・信頼のマークです。

Gマークは、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関(全日本トラック協会)が認定・交付する「安全性優良事業所」のシンボルマークです。

社団法人 山梨県トラック協会
 笛吹市石和町唐柏1000-7

中日本高速道路株式会社



ETC専用 24時間運用! **双葉スマートIC**

平成21年11月21日 **開通!**
 午前11:00

東京方面に加え、名古屋・長野方面出入口が完成。



- 対象車両** 中型車・普通車・軽自動車等
 ただし、中型車であっても車長8.5mを超える車両は通行できません。
 ※特大車・大型車はご利用できません。
- 利用上の注意** ETC車載器にカードが挿入されていることを確認してください。ETCゲートでは**必ず一旦停止**をお願いします。